

令和5年度 環境活動スタート事業

1 実施校

いわき市立内郷第三中学校（全校生）

2 実施日

令和5年7月13日（金曜日）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

日本で今できることをやってみたいと思いました。少しでも大変な思いをしないようなことをしたいです。まわりの人に伝えることができると思うので、伝えてみようと思います。

キリバスだけでなく日本も沈んでしまうのではないかと思います。故郷がなくなってしまう思いは、はかり知れない辛さだと思うので、自分にできる限りのことをしていこうと思います。誰も悲しまない、豊かで幸せが溢れる世界をつくれるような、輝かしい未来のために頑張りたいです。

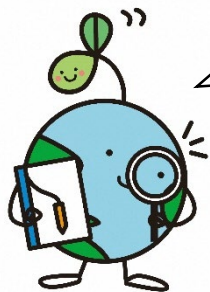
地球温暖化について、さらに興味を持ちました。2050年には、キリバスという国がなくなってしまうと聞いて驚きました。また、「希望を捨てるな」という言葉が心に響きました。自分もキリバスに行ってみたいと思いました！そのために、自分たちにできることはなにか、地球温暖化について自分で考え、それを行動に移して、キリバスを助けたいと思いました。

地球温暖化について自分は知っていると思っていました。しかし、実は、ほんの先っぽのことしか分からないのだと実感しました、自分は、地球温暖化を進めてないかや、できることはないのかと、とても考えさせるような時間でした、自分以外の命を大切に生活したいと思いました。

地球温暖化をとめるために、どのような対策ができるかを聞いたりどのような災害が起きているかが分かったので、自分にも出来ることをしてみたいと思いました。

講演を聞いて、悲しい気持ちと同時に、自分が情けなく思いました。電気のつけっぱなしや、公共の場にごみを無意識の打ちに捨てていたかもしれない。それがキリバスなどの国に大きな害となることにも気付かなかったことです。なので、自分にもできることをして、少しでもキリバスのような国を守りたいです。

私たちがフードロスをしたり、CO2を出したりすることで、キリバスやその他の島にも大きな影響を与えていることが分かりとても苦しくなりました。SDGsなどは前から聞いたり、見たりしたことがありましたが、今回講演会を聞いて知らなかったことも多くあったので、地球や世界の無知をなくして、これからは関心を持っていきたいです。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- エコバッグを利用すること
- ごみを分別すること

自分のエコバッグを使って買い物することができました。ペットボトルのラベルを剥がすなど、ごみを分別することができました。これからの生活でも自ら行動して、地球温暖化に関わっていきたいです。



- 水を無駄にしないようにする

以前は、歯みがきの時に、水を出しっぱなしにしてしまう時が結構あったけど、最近は、すぐに水を止められるようになってこれからも続けていきたいと思います。



- 使わないコンセントを抜く
- トイレの電気を消す

使わないコンセントを抜いたり、トイレの電気を消したりなどを実践したおかげで自分が行動に示すことがどれだけ大切だということが分かりました。



- 電気の節約
- ごみ拾い

少しでも誰かの力になれたと思うとうれしいです。「どうせ自分1人が」ではなく、「自分だからできる」という心でこれからも実践していきたいです。



- 節電をする。部屋の電気をこまめに消したり、使ったままにしない
- フードロスが減らす。自分の食べられる分だけを取り、残さず食べる

節電をしてみて、節電は毎日やっても苦にならなかったなので、これからも続けようと思いました。どうしても暑い日は1つの部屋に集まってエアコンをつけるなどして節電と同時に家族との会話もできました。また、自分が食べられる分だけ取ることで、全て残さず食べられました。

